

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：しののめ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：榎 忍	定員（利用人数）： 90（98）名
所在地：〒236-0014 横浜市金沢区寺前1-8-28	
TEL：045-791-5043	ホームページ： https://www.shinonome-kai.jp/shino/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2005年9月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 しののめ会	
職員数	常勤職員： 26名 非常勤職員 7名
専門職員	園長 1名 主任保育士 1名
	保育士 22名 看護師 1名
	栄養士 4名 調理員 1名
	事務員 2名
施設・設備の概要	乳児室 1室
	幼児室 1室
	沐浴室 1室
	調理室 1室
	トイレ 2室
	事務室 1室
	職員休憩室(更衣室) 2室
	地域子育て支援室 1室
	鉄筋コンクリート造り2階建て 建物延床面積 809.80㎡
	園庭 381.41㎡

③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】 安全・安心 そして信頼をモットーに 地域社会との共生をめざします</p> <p>【基本方針】 ・人との関わり、支え合いを大切に、お互いを認め合い助け合う関係を育て、人間関係の基礎を養う ・四季を充分に感じ、自然を愛しみ、心身を鍛え、物事に感動し美しい心を育てる</p>
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<p>【立地および施設の概要】 しののめ保育園は、京浜急行「金沢文庫」駅から歩いて8分、マンションの多い住宅街の中に位置しています。近隣には海の公園、健康歩道、松風公園等海や自然に触</p>

れることができる場所が多くあります。

社会福祉法人しのめ会が2005年9月に開設し17年目の保育園です。園舎は鉄筋コンクリート造りの2階建てで、広い園庭があり、0～5歳児98名（定員90名）が在籍しています。

【園の特徴】

園は、しのめ会の理念に基づき、保育園（人的、物的、生活環境）を通して、子どもたちの「成長を保障」することを「最善の利益」として追及し、子どもが主体の保育を通して“生きていく力（目標に向かっていく力、人と関わる力、感情をコントロールする力）を育む”取組を行っています。

1、2階ともワンフロアとして使用し、0、1歳児は2階、2歳児と3～5歳児は1階で、日常的に異年齢クラスで活動しています。1歳児でも月齢や発達状況の様子から2歳児クラスに年度途中で進級することもあります。チーム保育を行い、全職員がすべての子どもを把握し、職員全員で連携を取り、いつでもだれでも対応できるようにしています。

地域の子育てを支援するため、地域支援スペースを設け、一時保育等の取組のほか、子育てサークルに職員が出向き、多様な交流をしています。年度限定保育では保育所を利用できなかった1、2歳児（3名）を受け入れ、地域のニーズを解決、緩和する事業に積極的に取り組んでいます。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月31日（契約日） ～ 2022年3月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3 回（2017年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 子どもが自ら選んで決めていく保育

すべての保育活動においてそれぞれの子どもの思いを大切にし、遊びや楽しさの共有、生活能力や技術の習得、コミュニケーション能力の向上等に配慮しています。また日常的に異年齢で過ごしており、上の年齢の子どもは下の年齢の子どもに思いやりを持って接し、下の年齢の子どもは上の子どもへのあこがれをもつことで、遊びや生活において自らチャレンジする力をはぐくんでいます。

遊びにおいては子どもたちがその日の気分や生活リズムを満たすことができるように、制作、園庭遊び、散歩等、静と動両方のプログラムを用意し、遊ぶ場所を自分で決めることができるようにしています。生活習慣の習得については、子どもが自らやってみようと思えるような声かけを行い、職員はできない部分を手伝うようにしています。

また、子どもが制作で使う素材(折り紙等)をチケット制にしています。1週間のうちに使える枚数が決まっているため、いつ何枚使うかを自分で決めることとなります。物を大切に作る心を育てるとともに、自分の行動に見通しを立てることを目的としています。

2. 園運営への職員の積極的参加

園長は、子どもだけでなく職員にも主体性を持ち、保育の幅を広げてほしいと考え、係決めを行っています。係を毎年変え、職員は保育に必要なあらゆる面を具体的にみるができるようになっていきます。研修内容、スケジュールに取り組むOJT係（研修担当）、事故防止マニュアルや避難訓練計画の作成等に取り組む安全管理係等

多岐にわたっています。

経営計画や園の重点項目を含めて職員に周知したいことを記した「周知事項」という冊子を毎年全職員に配付しています。それを使って、基本理念・方針・保育目標・園テーマについて園内研修を行っています。

園テーマは毎年職員によって考えだされています。今年度のテーマは「絵本」で、絵本についての研修を行っています。職員間で意見を出し合って、絵本のイメージからごっこ遊びや登場人物の制作への展開を考えるなど、保育技術のレベルアップを図っています。

また、前年度に保育実践が不十分だったことを今年度の「職員テーマ」としています。制作等が毎回同じものになるマンネリ化を防ぎ、子どもがやってみたいと思えるものを提供できるように、今年度のテーマは「ひらめき、ときめき」を掲げ、園テーマに連動しながら、職員が積極的に考え、園運営に参加できるようにしています。

◇改善を求められる点

1. 保護者への情報発信と意思の疎通

法人の基本理念「安全・安心 そして信頼をモットーに地域社会との共生をめざします」を実現するため事業を展開していますが、利用者アンケートによると事業計画の保護者への周知が十分ではありません。

例えば門扉の鍵を日常的に施錠していないことについて、保護者に園の意図するところが伝わっていません。園としては地域社会との共生を目指しており、地域の方々が入りやすい環境を整える意味を持って門扉の施錠を行っていません。安全のため玄関は電子ロックになっており、インターホンで訪問者を確認した後解錠することになっています。

新型コロナウイルス対応のため、懇談会等で直接保護者に説明することが困難な状況ですが、計画やお知らせの配付だけでなく、保護者に分かりやすく情報発信をして保護者との意思の疎通を図ることが期待されます。

2. 個人別記録（個別指導案）の振り返り

0～2歳児、障がい児の個人別記録（個別指導案）には評価・反省する欄がありません。ねらいに沿った反省・気づき・振り返りが確認できるような記録の工夫が期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度は、第三者評価の受審にあたり、保護者の皆様にはアンケート等にご協力いただき感謝申し上げます。また、評価機関や評価者の方々には保育についてご理解くださり評価結果報告書としてまとめいただき感謝申し上げます。評価結果報告書の内容を踏まえ、今後もより良い保育運営を行っていかれるように努力していきます。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり